

2023年6月29日（木）開催

2023年度 第1回施設・環境・設備安全セミナー プログラム

（敬称略）

17：25～ 入室開始

17：30～ 事務局からの説明

17：35～ 開会挨拶

寛 淳夫（工学院大学建築学部長・建築デザイン学科教授／部会長）

17：40～ 事例発表・質疑応答

司会：三浦 雅博（三浦雅博アトリエ／一級建築士）

質疑応答進行：深澤 美由記（医療法人社団愛友会上尾中央総合病院情報管理部医療安全管理課課長／部会員）

①「玄関フロアでのトイレ内急変」

社会医療法人厚生会 中部国際医療センター 医療安全管理室 医療安全管理者
渡邊 智恵

②「階段における病院利用者同士や職員との衝突」

浩生会スズキ病院 医療安全管理者 竹本 妙子

③「洗濯乾燥機の転倒」

岡山済生会総合病院 医療安全推進室 医療安全管理者 原田 千穂

18：25～ 総括・閉会挨拶

寛 淳夫

18：30～ 参加後アンケートについての説明

セミナーにご参加いただくにあたっての ご案内と注意事項

一ご案内

【質疑応答の参加方法】

ご質問は、画面下部の「Q&A」にご入力ください。

特定の発表者に質問したい場合は、その旨が分かるよう「〇〇さんに（または〇〇病院に）質問です」と文頭に記載してください。

【受講証明書】

受講証明書はお申し込みいただいたメールアドレス宛に、メールでお送りします。

送信予定日は7月13日（木）です。

メールが届いてから、1週間以内にダウンロードしてください。

※下記の3点をすべて満たした方に発行します。

- ①本セミナーへのお申し込みがある
- ②セミナー開始から終了まで参加した記録がある
- ③参加後アンケートへの回答がある*

(*)参加後アンケートのページはセミナー終了後、自動的にブラウザが開きます。もし、その場で回答ができなかった場合は、セミナー翌日に配信されるメールに記載されているリンクからご回答ください。

回答期限：7月3日（月）23:59まで

【複数視聴】

セミナーの模様をプロジェクターで投影するなどして複数名でご視聴いただいても問題ございません。

【開催後】

セミナー終了後、協議会ホームページにて期間限定で後日配信を行います。

（会員ログインが必要です。ご視聴による受講証明書発行はございません）

一注意事項

【注意事項】

- ① インターネット回線速度の確認及び、パソコンの動作検証は、受講者の皆様にて行ってください。
- ② インターネット接続の通信状態やパソコンの不具合により、本オンラインセミナーに参加できない場合や受講に不具合が生じた場合、事務局では対応できかねますのでご了承ください。
- ③チャットは使用できません。

【禁止事項】

- ① セミナーの録音・録画・スクリーンショットは固く禁止いたします。
- ② Q&A等で他の参加者のご迷惑になるような書き込みは固く禁止いたします。

困った時の対処法



■ Zoomウェビナーに入れない

➡招待メールから入っていますか？

お送りしたリンク以外からは入室できません。

メールアドレスとお名前の入力を求められた場合は、お申し込み時にご入力いただいた情報を記載してください。

■ 誤って退出してしまった

➡再度、招待メールのリンクから入室してください。

■ 音が聞こえない

➡スピーカーがミュートになっていないか確認してください。

➡イヤホンを使用する場合、使用するデバイスとして認識されているか確認してください。

➡パソコンの起動不良などで、一時的にスピーカーが使えないことがあります。一度退出し、再起動してから入室しなおしてください。

■ 画面がカクカクする／音が途切れる

➡インターネット接続が不安定な可能性があります。

有線LANを使用するか、強いWifiに繋ぎなおしてください。

参加者側の不具合は、事務局では対応できかねますのでご了承ください。

玄関フロアでの トイレ内急変



病床数 502床（ICU10床・HCU10床）
診療科 33診療科
1日平均外来受診者数 約1,100名



社会医療法人厚生会 中部国際医療センター
医療安全管理者 渡邊 智恵

事例の概要

50代女性患者。独歩で来院されたが、相談中にトイレに行かれた。

5分経っても戻って来ず、様子を見に行くと中で意識がない様子。

直ぐにドアを開けらるツールがなく、救出までに時間を要してしまった。



要 因

★外来部門の個室トイレは
すべてが**中開き**で、スラ
イドバー式のロック方法
であった。

★**解錠方法は知っていても、
中開き扉が外開きに出来
ることを周知できていな
かった！！**



<トイレ内側の様子>

スライドバー式ロックになっており、常にこの状態になっている。バーがここまでしかスライドできず、外開きにはできない状態にある。

対策と実践 1

解錠できるとドアが中開きになるため、そこに手を入れ、スライドバーを中へ押し込み、扉より内側にスライドバーを移動させる



ドアの内側

対策の検討



対策と実践



まとめ

- *今回はトイレ内における急変時の対応であったが、認知症患者や小児の閉じ籠り対応にも素早く対応できる。
- *一部のスタッフのみならず、院内で働く職員全員が周知して、いざという時に直ぐに誰でも対応できることが重要である。
- *院内ラウンドは定期的やインシデントが発生すると現場確認には行ってはいたが、「危険な箇所」探しという認識の方が強く、院内ラウンド時の視点を変える必要があると再認識した。
- *他職種との連携を重視していたが、施設管理部門、清掃担当者などとの連携も重要である。

階段における病院利用者同士 や職員との衝突

浩生会スズキ病院

設置前

黄色の人は→の方向へ

青色の人は←の方向へ

行きたい方向にそれぞれが行こうと
して、ぶつかることが度々あった。



設置後

『見える化』 するため、
ミラーを設置



設置後

お互いの位置を確認することができた



ぶつからなかった

設置後

一旦、立ち止まることができ、
ぶつかることがなくなった。





洗濯乾燥機の転倒

社会福祉法人
岡山済生会総合病院

医療安全管理者
原田千穂

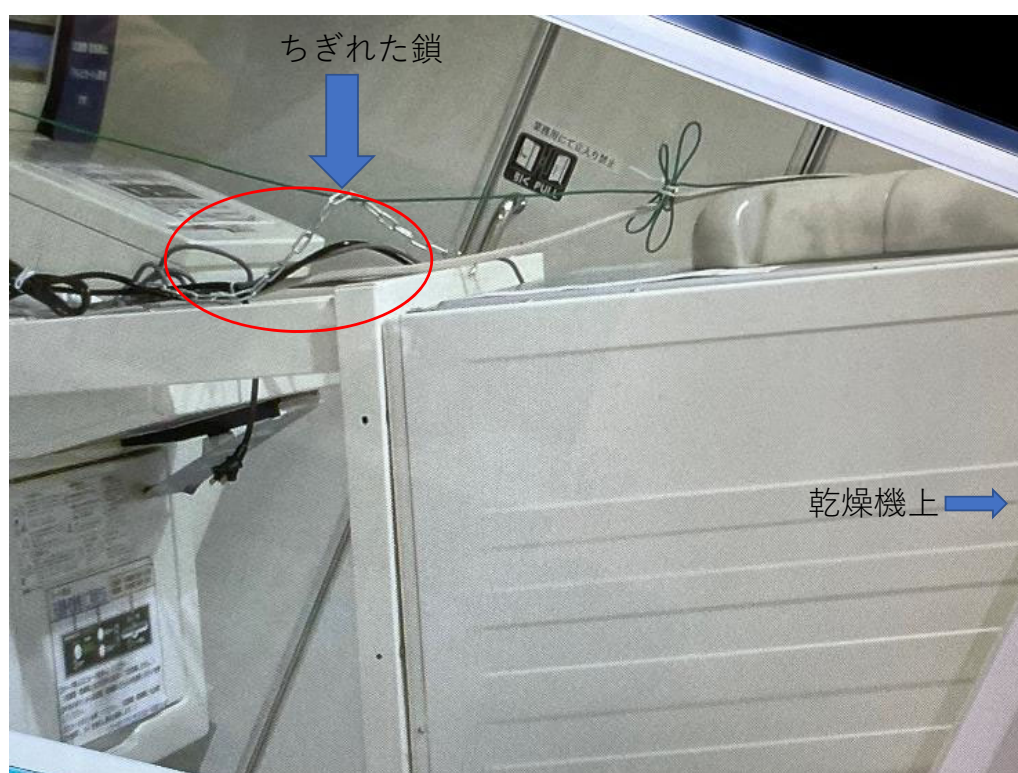
事例

※患者が乾燥機の中身を見ようと手を掛けたところ乾燥機が傾き、患者が後ろに転倒。

※乾燥機はそのまま壁に倒れ掛かり、患者は壁と乾燥機の間に座り込んでいた。

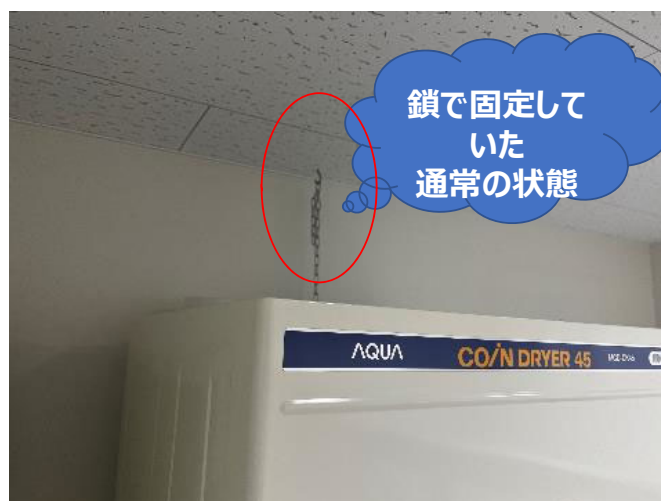
※脊柱部に擦過創ありドレッシング剤を貼付、骨折などの障害はなかった。受傷後もADL低下はなかった。

※天井と乾燥機が鎖で固定されていたが、この時は患者がぶら下がる形になり、全体重がかかり、鎖がちぎれた。





通常のランドリー室の状態
2 台の洗濯機と乾燥機



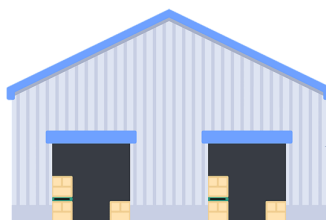
ICU・HCUをいれると病棟単位は 1 4 単位
ワンフロアー 2 単位の病棟配置 ➡ 全 7 フロア
(HCU・ICUフロアには設置なし) 合計 **6 フロアに 2 台ずつ配置**

本当は・・・全フロアの洗濯機を 1 台ずつ除去
乾燥機を低位置に設置したい。 ➡ **計6台**

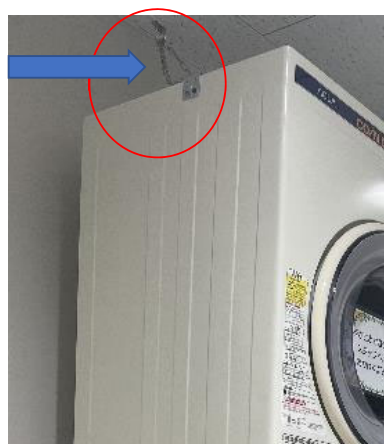
誰が運ぶの？



どこへ保管するの？



対策



- ※ 鎖と固定の補強
- ※ 基本看護師が付き添う
- ※ 注意喚起の掲示の追加



**根本的対策は
乾燥機を低位
置にすること**

図4 改善後の洗濯室

洗濯機を1台撤去して、乾燥機を下の段へ移動した。

患者安全推進ジャーナルNo.69
「患者の声を活用する」P19 図4
(ベルランド総合病院)